

ごめんね。
マリック



るなたーく

では失礼するぞ

その日
わしはマリクと共に
久しぶりにアリティアへ
やってきました

たぶん

あの

マルスは
あいにく出かけて
おりまして！

戦後の復旧も一段落し
久しぶりにマルスや
エリスたちと昔話に花を
咲かそうという事になった
のだ

ウエンドル
カダイン最高司祭

夜の食事会には
帰ってくると言って
ましたので
お待ちいただけますか？

エリス

しかし

どうぞ
こちらでゆっくり
してらしてください

ほっほ
じゃあそうさせて
もらいますか

それはただの
建て前

おっしやあ

わしの目的は
他にあった

グッ

エリス…

この女と
一発やりたい！

たゆんたゆんのデカ乳に
ムツチリしたケツ…

戦争中は何度
オカズにさせてもらった
ことか…

しかし
もうのぞきだけでは
つかんわい

トク
トク？

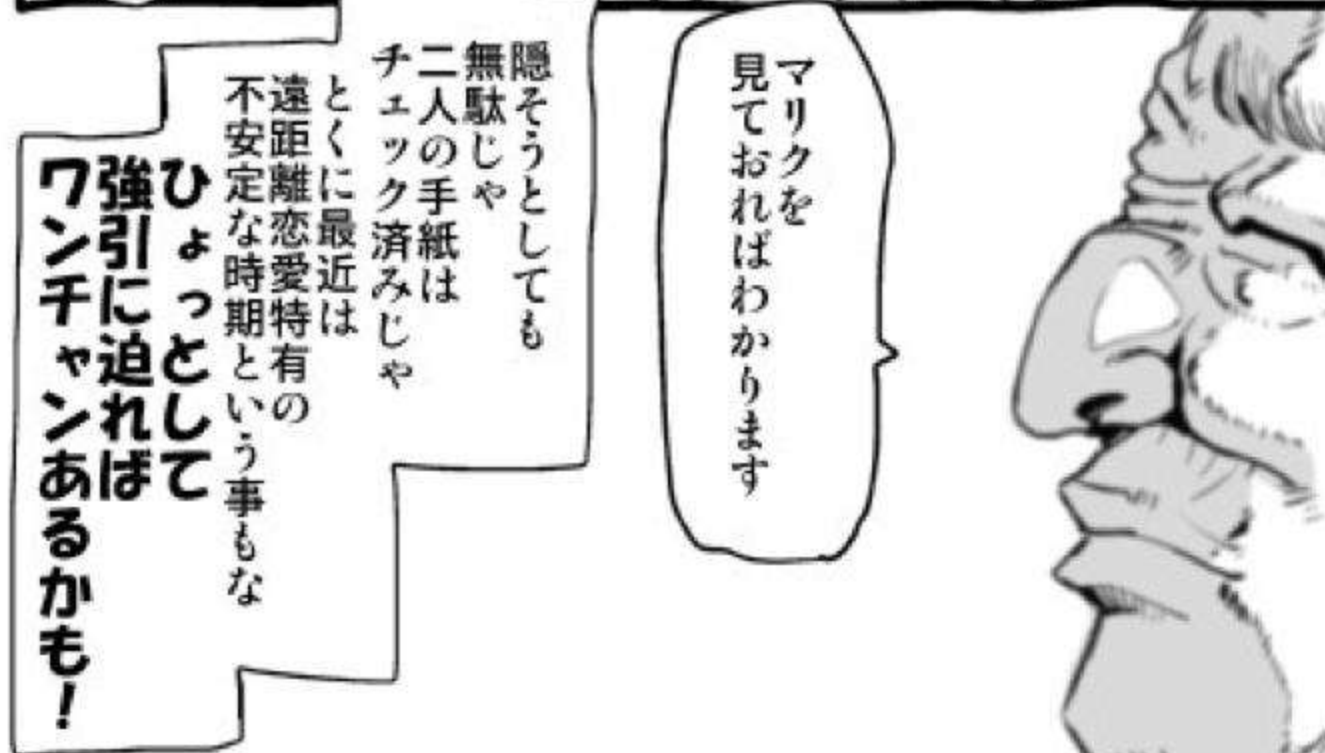
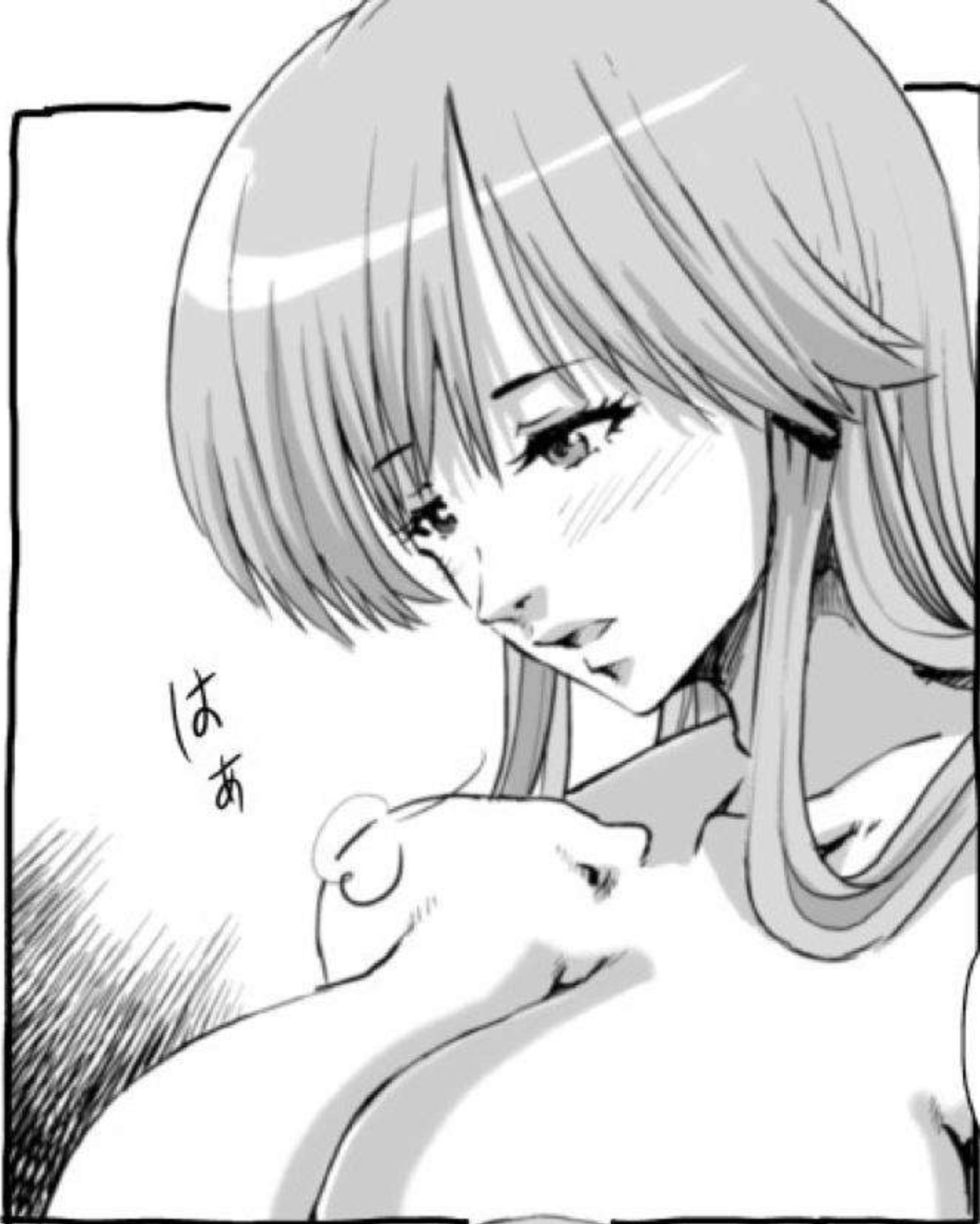
弟子の
マリクの女じゃ…

わしが一発くらい
やってもバチがあたりん
じゃろ！

あの…
そういえば
マリクの姿が
見えないようですが…

ああ…
そうそう

ちよつと用事があつて
遅れると言っておったなあ



おせっかいかも
知れませんが

会ったときぐらいは
ちゃんと愛を確かめ
合わねばいけませんよ

そう…
キスぐらいは
顔を合わす度
にする勢いでないと

そ…そんな…

あの人
そんな積極的じゃ
ないですし…

いけませんなあ
心に灯をともしには
まず行動から…

普段からの
細かなスキンシップが
大切ですぞ

くっく
マリクのやつ
こんな極上ポテーを
目の前にして何もせんとは
なんともってたいない!

よし
まずはダメもどで
切り込んでみるか…

そうですねあ…

ちよつと
目を瞑ってみて
もらえませんか

カダインに伝わる
恋のおまじないじゃが…

え

まあまあ
騙されたと思って
一度…



えっと…

なんかよくわからなくてすけど…

こ…
こ…
こうですか…?

おうおう…

この距離で見ると
たまらんものがあるな

しんか
しんか
?

端正な顔立ちに
艶やかな髪…

当然じやがその辺の娼館の女とは
レベルが違うわい

まじまじと
見るとなんとむしやぶり
つきたくなる感じさあ

ああ…イカン

ちよっと
匂いがかぐ
つもりじゃったが…

むん♡
むん♡

むん♡
むん♡

むん♡
むん♡

やっぱりガマンできん

ガル
ガル…

す…吸い寄せられる



わーちゅーら

!!



いいいじやろ!

エリスくん
した舌だけ...
ペロチュエーだけじゃ!

いい...
じや...さよ...と...

おお
わめい
胸じゃあ

か

もみ

もみ

...



や：
わたししたら！

先生！

いやあ

ド
ギツ

ド

ザッ

フワ
フワ

ちっ
ちよつと
焦りすぎたか

先生！！

大丈夫ですか？



ああ...
まだちょっと
朦朧としており
ます...ほっほ...

す...
すみません
私ったらびっくり
しちゃって...つい

少し軌道修正
しておくか...

いえいえ...



実はちょっと
試してみたのですよ



は？

もし
あれが
マリクだったら
どうしましたかな？

愛とは積もり
積もってゆくもの...
愛を内側にずっと溜め込んで
いるといつかは
爆発してしまうのです

そう...
マリクもしかり



普段から
細かな愛を確認しあわな
ければいつかマリクも
行き場のない感情に戸惑いを
みせるでしょう

私はそれを
あなたに身をもって
知ってほしくてあえて
あんな暴挙にでたのです



そ...
そうだったんですか

全然気がつき
ませんでしたわ

あの...
今お水お持ちしますね





カ
カ
カ

ありやく
こりや困ったぞ
エリスくんのせいで
わしのアレが
こんな腫れ上がって
しまったぞ！

ちよつと蹴りの
刺激が強すぎたかな

だって
それは先生が
無理やり！

と…
とにかくはやく
しまつて下さい！

ぐり
ぐり

先生！
あんまり困らせますと
ひ…人を呼びますよ！

わしは構わんぞ
しかしこの状況を見て
どう思うかのう？

わし…かよわい
老人だし

見ようによっては
襲われてるようには
見えなくもないよね？
言いくるめる
自信もあるし！

最高司祭の言うことって
結構説得力あるんだよ？

しまうといつても
こんなに勃起して
しまつてはのう！
おさまらん
おさまらん

エリスくん
すまんがこれを
鎮めるの手伝つて
くれんかのう

だから…ね！
手でするだけで
いいから…ね！

後生じゃあ

ゴ
ゴ
ゴ

ぐり
ぐり

ガ
ガ
ガ



おっしやゝ
ゴネ得♪

白くて細いエリスの手が
わしの愚息をにぎってあるわ

面倒くさいから
さっさと終わらせちやお

ああ
幸せじやゝ

恩に着るぞエリス君！

しゅしゅ

しかし賛沢言わせて
もらうと
もうちよつとやさしく
扱ってくれんかの

はあ...
うるさいなあ

ようやく掴んだチャンスじゃ
なるべくなら長引かしたい所
だが...なんせこっちは
オナ禁中だったからの
正直握られただけで危ないわい

ついでに
先端のほうもひとつ
クリクリっと...

おお

うわ...
もう汁で
ぐちよぐちよ...

いいです
いいです
とても
いいです
ねね

いいですよエリスくん
そうちよつと
そこ強弱つけてねおっ

おお



うっ
イカン...

あゝ
イキそうじゃ

え
ちよっ:
いきなり立たないで
ください!

で:
出るぞ!
エリスくん

イク!!!
イク!!!
いくっ!

え:
あの...待って!?

手を離すで
ないぞ!!!
強めに
シゴくんじゃ!!!
ああ...たまらん!
おおっ!

ギッ

ドドド

ドドド

ん

すまんすまん
一ヶ月ぶりの射精だったんで
たんまり出してしまおうたわ



ドロ

にちやあ
あ

満足しましたか?

アヤ

早く「それ」しまってくださいね
私着替えてきますから



ぬ
キッ

ブルン

ゆん



あーもう
今朝おろしたばかりの
服だったのに



おお
きめの細かい
きれいな肌ですね

とれ...
着替えるのでしたら
手伝いましょうかの？

ひっ

もみ

もみ

もみ

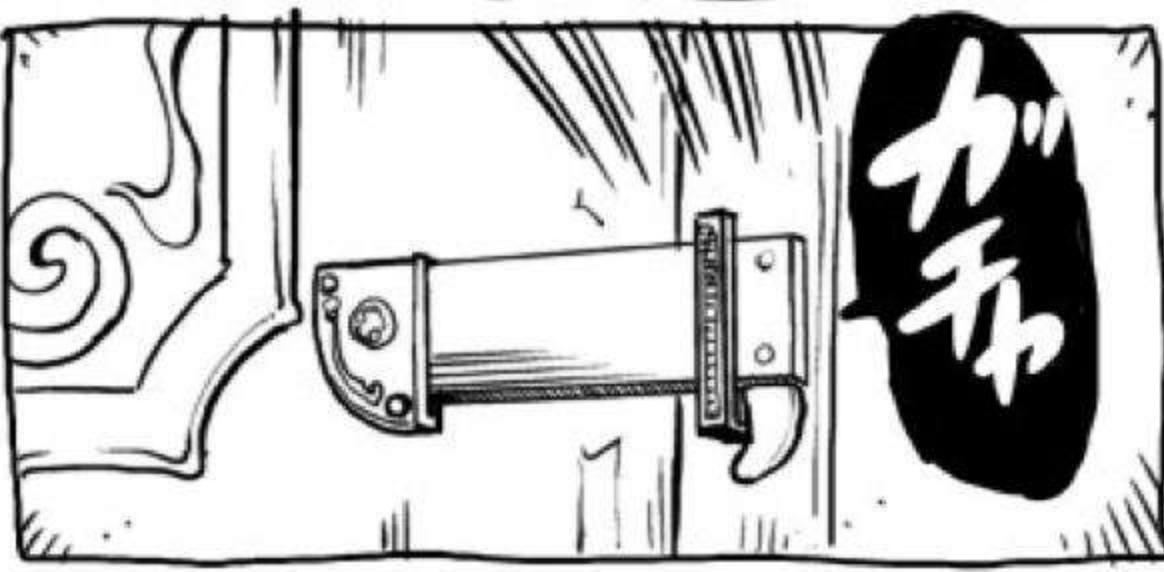
思わず舐めて
しまいそうじゃあ

しまっ
しまっ

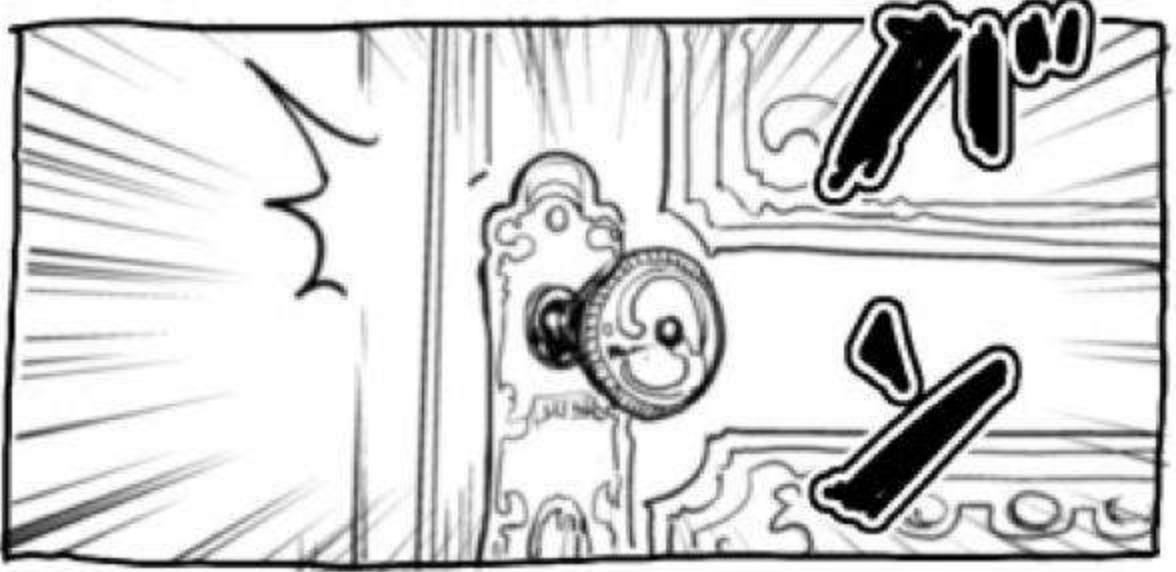


いいかげんに
してください！

ニャ



カッ



カッ



年のせいで...

まさか先生にあんな一面があるなんて
思わなかったわ



あー
びっくりした

ドキ
ドキ
ドキ



ベ
ン
ギ
ョ

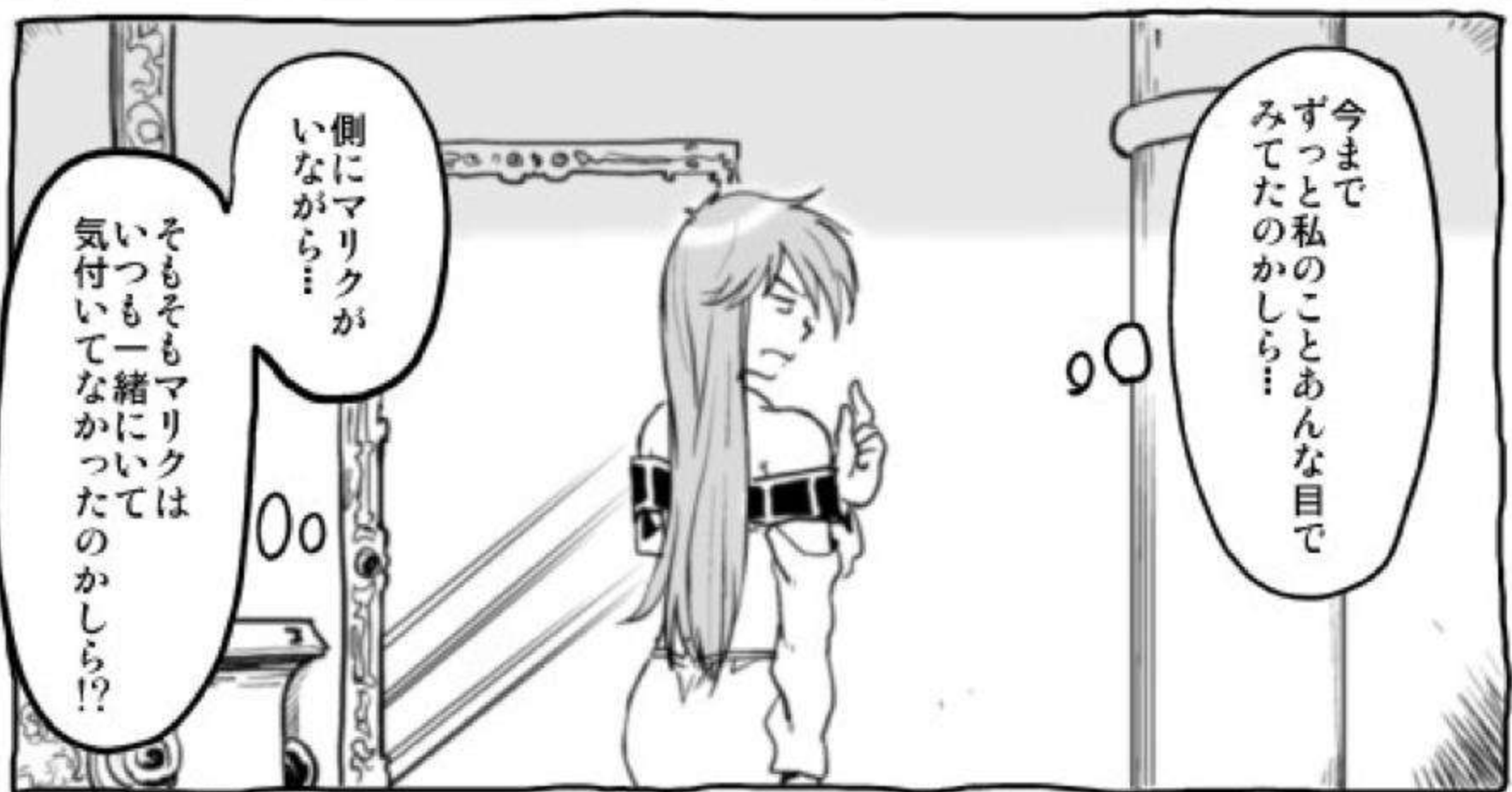


うわー
髪にも飛んでる



ホントっ！

鈍感なんだから!!



側にマリクが
いながら...

そもそもマリクは
いつも一緒にいて
気付いてなかったのかしら!?

今まで
ずっと私のことあんな目で
みてたのかしら...



なんか
落ち着かないな



マリクのぱかっ

ぱかっ

ぱかっ



ん

ぢ

あの半分に：
あの半分でも
強引さがあればな！

グ
グ

も
も

も
も

も
も

も
も

も
も

も
も

も
も

も
も

も
も

も
も

何
い
っ
て
ん
だ
ろ
わ
た
し

...

ば
か

ば
か

ば
か

シ
シ
シ

シ
シ
シ
シ
シ

は

は

...

シ
シ
シ

シ
シ
シ

シ
シ
シ

シ
シ
シ









ちよ…えっ？
まって…

これは
相当欲求不満の
ようですの

そうならそうと
言ってくれば
よかったのに…

ど…
どこから入って
きたんです

まあまあ
細かいことは
いいから

バサ

わしにドゥンと
任せなさい

エリスくんの
悩みはマリクの悩み…

ん…

んふっ

ここは
師匠として
お手伝いさせて
いただきますぞ

さっき抜いてくれた
恩もありますし

バダバダ

いっ
しりっ
しりっ

なーに
見えなけれ
ば
わしもマリクも
そんなに差はありませ
んわい

バサ



で： でわ：イキますよ！

いやっ： ちよっ：

ちゅっちゅっちゅっ

ぐっぐっぐっ

ひゃう！！



しかし：まあ、 ワシのせいで 中途半端になっちゃい ましたからね

とりあえず一度 イっておきますか？

しゅっしゅっしゅっ

しゅっしゅっしゅっ

あっ

あふっ

あふっ

おや：
指が入っただけで
この反応！

ウキ
ウキ

ウキ
ウキ

そろそろじゃあ
全開でいきませよ！

じゅぽ
じゅぽ

ちゅぽ
ちゅぽ
ぽ
ぽ

イヤらしい音を立てて
よく滞れるマ○コですね

あん

あん

じゅぽ
じゅぽ

じゅぽ
じゅぽ

んぎ
んぎ

ちゅぽ
ちゅぽ

んちゅ
んちゅ

ウキ
ウキ

ウキ
ウキ

ウキ
ウキ

あん

かん

かん
かん
かん

あん

ビクン
ビクン
ビクン

ビクン
ビクン

あん

かん



おう
これまた
豪快に撒き散らし
ましたな

一国の王女が
エビ反り潮噴きとは
なんとはしたない

はあ
はあ
はあ

ビク
ビク

ひゅっ

ビク
ビク

に
ち
あ
あ

ビク
ビク

し
か
し
な
が
ら
な
か
な
か
欲
情
そ
そ
る
光
景
で
し
た
ぞ



さーて
どんな感じ
ですか？

し
ゆ
る

おお
とうやら
満足していただけた
ようですわえ

は
い
う

は
っ

し
ゅ

は
っ

ア
ア

ビク
ビク
ビク

どうです？
ほちほち一発
欲しくなってきた頃
じやありませんか？

これだけ
発情してると
さぞ良いハメ心地と
思いますよ

いい
いい加減にして
ください
……もう……

おやあ？
先ほどと比べて
随分と声に力がなくなっ
てきたようですねえ

ハチヤ
ハチヤ

ワッ

ほくらマ○コも
随分とほぐれて
だらしなくなっ
てきましたよ

いゆ

王女のマ○コ
ピンク色で
とっても綺麗だ

でわ勝手に
失礼して……

ワッ
ワッ
ワッ

ひやっ

ズルルズルル



よし！ここが勝負どころじゃ

娼館で鍛えたテクニクで畳み込む！

先生！もうやめて！

本当に！もうダメですから！

やん

にゃあ

おやまたイキそうですか？

いいですよいいですよ！遠慮なく何度でもイっちゃってください

今度はイク瞬間の顔拝ませてくださいいね

もうイヤあああ！

おほっ

あーかんのうーん

ああダメ！体に力が入らない

ほっ

はー

はー

はー





いやなのに...

逃げたいのに...

ちゅっは
ちゅっは

ちゅっは
ちゅっは



ス

ス
ス

ス

この快樂から
逃げられない...!



あー
あー

あー

あー
あー

あー

あー



ぶちやう

しゅ
しゅ

しゅ
しゅ
しゅ



もう...ダメ...



マリク...

スル...



それじゃ
挿入ますよ

はー

はー

タラッ

しゅっ♡

それ
いきますよ

あー

ゴゴ

ゴ

タラッ

ド

ド

ド

タラッ

ド

ああっ
だめいきなり
動いちや...!

70 0
70 16



ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ああ、いい締めりじゃ
ワシらの相性は
びつたりじゃのう

何度やってもやつぱり
このファースト挿入の
ソクソク感はたまらんわい

あゝ

おっ...
おっきい

はあ

はー

フルッ

あん

存分に味わうん
じゃぞ!

あゝ

どうじやエリスくん
ずいぶんご無沙汰じやつたろう?

わしがたつぷり
慰めてやるからな

あん

ぱん

んっ

はっ

あうっ
あうっ

やっ

あうっ
あうっ
あうっ

あ
ちよ…せんせい
がつつきすぎです…

んー
んまっ

んふっ

んふっ

この豊満なおっぱい
…んーサイコーじゃあ

じいっ
ズッ

あん♡

んー
ケチケチするでない
こんな極上おっぱい
そうそう味わえんからな

ギギッ
ギギッ

あゝ

あゝ

ほれっ
いくぞ
エリスくん!

ああっっ!

奥…に
あああっ!

ガッ
ガッ

ズッ
ズッ
ズッ

ほ

こっ
これはたまらん!
きゆうきゆう締めつけて
きおる…

イキそうじゃ!

え…
ちよ…まって…

おおいクぞ
イクイクツ
イクツ!!





ほっほっ
またいつばいの
しほりとられたの

はー
はー
はー

あっ

ド
ド
ド

うっうっ!!

ゴ
ゴ
ゴ

どうじゃエリスくん…
ワシの
あつつい射精
感じたかの？

そんなこと…
しりません

ゴ
ゴ
ゴ

つん
つれないのう

れろ
れろ
れろ

ん
ん
ん



なに
まだ始まったばかり...
これからたっぶり
堪能させてもらおう

もみもみ
ゲッ

もみもみ

ブルッ

あ♡



ムキッ

ムキ

えッ

ム



おっ...

ぐんぐん

スッスッ

さてって...

え...えっ...

またっ!?

ズリッ

あん

ほっほっ
まだまだ…若いモンには
負けません…よッ!

い…いやあ
こんな後ろからなんて…
恥かしい…

ああ
いい眺めだよエリス君
このムチケツも…手に吸い付いて
くるようにクセになるぞ!

ギシ

ギシ

ん

あ

ん

ギシ

あ

23



なんじや
王女はバックがあまり
好きじゃないんですか...

お願
い
お願
い
せんせい...

も...も...ちぢめて

は...
恥かしくて気が変に
なりそうです

ここからじや...
チ○ポが入りするトコも
王女のケツ穴がヒクついてるトコも
ぜーんぶ丸見えなんですすがねえ



もう...なに言っ
てるんですか!!

おやおや
赤くなつて...
かわいいですのう



あゝ

でわ...

なかなかいいもん
でしょ？

たわわな尻
ブルンブルンさせながら
犬みたいにこうやって
交尾するの

ギシ

ギシ
ギシ

ギシ

ブルン
ブルン

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

あん

あつ

いや……こんな……
いやあああああ……

んん？

そう言いながらも
心なしかさつきより
感じてません？

息も荒くなって
るみたいですし……

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

はあ

犬みたいに
ズコズコハマられて
コーフンしてきまし
たかの？

あつ……
……また……イ……っ……

はあ
はあ
はあ

あつ……そ……そんな……
こと言わないで……

だって……そんなに突かれたら
頭がボーっとしてきて

何も考えられなく……

あん

あん

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

はあ

はあ

なんじゃ...
またイってしまった
のかね

どっ

はー

はー

はー

ふふ...
エリス君...
いい声で鳴いてました
ねえ

普段との
ギャップが
またたまらんわい

お
ニ
ッ
メ

え...
何言って...

せ...
先生の方こそ...
続けてするなんて

どんだけ
元気なんでしょうか!

はあ

か...
顔が近いです

そりやもう...
ずっとエリス君と
ハメハメしたくて
しようがなかったからの

戦時中も
常連待機部隊だったから
力も有り余っとるし

うん素直じゃないのう
子供の頃はよく
マリク達と一緒に川の字になって
昼寝した仲ではないか

もみ

もみ

もみ

それが...こんなには
ち切れんばかりに
大きくなつて...
わしは嬉しいぞ!

こう見えて
わしも少しは
責任かんじとるんじやぞ

マリクには
魔法ばかり教えて
女の悦ばせかたを
教えておらんかったからのう

にちゃ

にちゃ

にちゃ

そのせいで
エリス君には
随分と寂しい思いを
させたかも知れんが...

どうか今日の
ところはひとつ
ワシの竿でその怒りを
静めてくれんか

くりり
くりり

べ...
べつに怒ってなんか...
...っていうか
まだするんですか?!

ひちや
ひちや
ひちや

当然!

ワシには
ひとつの確信があった

先ほどの
一人身体を慰める
淫らな光景...

この女...

グ
フ

きつと
淫乱な本性を
隠しているに
違いない!

あん

悦楽の表情...





その貌：
引きずり出してやるわ

ホレホレ今度は
こういう体位は
どうじゃ！

だめえ
たぶん

そんなに
ズンズンついたら…
子宮に感じちゃう！

おう
いい締めまりだ！

へへ…次は
中に出しちゃうぞ
いいな
エリスくん！

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン

ズン

フッ
フッ
フッ

ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン

ゴッ
ゴッ

へへ
うまそうにワシの
肉棒飲み込みおつて…

ズキ

ズキ

弟子のより
師匠のチンポが
一番じゃろ？

ズキ

気に入って
くれて
なにより

段々エリスくんの
ツボがわかって
きましたよ

ズキ

ズキ

ズキ

たっぷり
注いでやるからな

あん…あつ…
いい…
…そこ気持ちいい…

ズキ

ズキ
ズキ
ズキ

確実に精子を送り
込むために
一番奥で射精するかの

ズキ

ズキ
ズキ
ズキ
ズキ
ズキ

あつ
あつ
あつ
あつ

いくぞ…

…いくぞ

いくぞオオ!

ズキ

くろうら：
やっちまったた…
ついに膣内に出して
しまったわい…
マリクのやつねじめるかの…

はー
はー
はー

ドク
ドク

せーん
せーん

わしの読みは
見事的中した！

ズチュ
ズチュ

ズチュ

すーい…

せんせい…
何回でも
…できるのね

ズチュ

四回目の挿入の時には
すっかりヨダレを垂らしながら
チ○ポにむしやぶりついて
きおった

ズチュ



ドロ

今度は一緒に
イキましょ…
せんせい♡

じゅぽ

こうなれば
とことん付き合っさ
エリスくん…！

はー

きゅん

はー

はー

じゅぽ
じゅぽ

はー

ズチュ

ズチュ





ズキ
ズキ!

ズキ!

ズキ
ズキ

ズキ
ズキ

あっ...あんな腰フリとまんない...!

イク...イっちゃう! せんせいの千○ポでまたイっちゃうのオオ...

ズポ

ズポ

ズポ

うおおおおこの淫乱王女め! こっちもイクぞ...!!

せんせいの千○ポ...!!

イイ... 千○ポ 気持ちイイ

あひゃい

あひゃい

ビュウ!

ズポ

ズキ

ズキ



ワシらの濃厚セックスはマリクが到着するギリギリまでおこなわれた

がっ

もんっ、アツいの中をちやうだい

ふっ

ズチュ

ズチュ

ズチュ

ズチュ

ズチュ

ズチュ

↑
リライブ

終盤は杖の力を存分に借りてしまったがそこはしつこ愛嬌じや

締めは窓越しの寝取り後背位



マリクや... お前はあの時楽しそうに手を振っておったがの

後ろで思いっきりぶちまけてやったわ！

マリク

ムロ

ン

ン

ン

ムロ



ま
その時は...

ごめんね、
マリク



楽しい時間もあっという間に
過ぎてしまった...

フ、
だが
望みを果たすことができたので
ワシは大満足じゃ

フ、
しかし3、4回ほど
中に出しちゃったのが
あとあと問題にならんか
心配じゃが...

ごめんね、
マリク

完

